

令和3年度 栗田保育園 「園の自己評価」

1. 園の保育・教育目標

信学会の教育理念と教育・保育の目標のもと、無限の可能性を秘めている子どもたちが、集団生活を通じて生き生きと過ごし、望ましい未来をつくりだす力を育てることを目標に保育をおこなう。

2. 本年度の重点目標

『心身ともに 健康な子ども』～明るく のびのびと～

○ 育てたい子どもの姿

- 1, 生活する力（基本的生活習慣、食事、整理整頓・着替えなど）
- 2, 人と関わる力（表現する、思いやり、認めあい、感謝の心、意見を言う、意見を聞く）
- 3, 学びの芽を培う（豊かな体験から、意欲・興味関心・好奇心を育み、自信や自己肯定感を養う）

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
保育課程・指導	・園は目指している保育教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育指針の実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は保育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人その他が実施する研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートを実施し、改善に活用している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ・おたより等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・保護者や学校、行政や地域の皆様、近隣企業様と交流し、保育・教育に生かす活動をしたり、連携して地域社会の振興に寄与できることに、ご理解いただいている。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
保育環境整備	・子どもの成長に則した保育・教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 保護者アンケートなどから

- ・先生方が頼りになる、優しい、相談にのってくれるので、安心して子どもを通わせられる。
- ・写真配信、レーザーキッズ、毎日のボード（ドキュメンテーション）、ラーニングストーリー、連絡カードで子どもの様子を教えてくれるのが嬉しい。
- ・バランスがとれた美味しい給食がありがたい。
- ・コロナ禍で難しいと思うが子どもの様子を実際に見る機会を増やしてほしい

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・昨年度末に、園長主任はじめベテラン職員が退職になり、園の雰囲気ガラリと変わったという印象を持つ保護者の方がいた。園運営に関してはさらに丁寧な説明が必要であると感じたので、園長だより、園だより、クラスだより等で発信していく。
- ・「子どもの最善の利益」を考え、環境設定を工夫していく。
- ・保育指針の理解を深めるべく、職員間の研修機会を増やし、保育の質の向上に努めたい。
- ・職員同士のチームワークを大事にしたい。